

第13回 小倉循環器内科セミナー カテーテルによる 弁膜症治療の最前線

●日 時/9月3日(木)19:00~20:30

●場 所/小倉記念病院 4F講堂

従来心臓カテーテル治療と言えば冠動脈に対するインターベンションが 中心でしたが、それに対し心臓の弁膜症など、構造的心疾患に対する カテーテル治療が近年注目されてきており、"structural heart disease (SHD、心構造疾患)インターベンション"と呼ばれています。低侵襲という 特性から、従来の外科的処置が困難な患者に対しても実施が可能で、 革新的治療となり得るのがSHDインターベンションです。

小倉記念病院 循環器内科部長 白井 伸一



「白井 伸一 プロフィール〕

日本内科学会 認定医 指導医 日本循環器学会 専門医 日本心血管インターベンション治療学会 経カテーテル大動脈弁植え込み術 術者認定 心房中隔欠捐閉鎖術術者認定

[専門分野]

冠動脈インターベンションも行いますが、現在は大動脈弁狭窄症、心房中隔欠損、 僧帽弁狭窄症などのStructural Heart Interventionを専門としています。 特に大動脈弁狭窄症にたいしての経カテーテル大動脈弁植込み術は大腿部 アプローチの術者をしております。